

バドミントン大会要項

1. 日 時 令和8年 ○10月17日(土)

・男女団体戦 ・男子シングルス及び女子個人戦の一部

8:40開場 ～9:00受付

※個人戦のみ出場選手は11:50までに本部で受付を済ますこと。

ただし、練習割り当ての時間に練習する際は、9:00までに

受付を済ませておくこと。

○10月18日(日)

・男女個人戦

8:40開場 ～9:00受付

2. 会 場 10月17日・18日 神戸市立王子スポーツセンター 主体育館

予備日:10月25日 松蔭中学校 体育館

3. 試合登録 ・個人の部…男女シングルス・男女ダブルス

人数制限がないが、同一選手が単複重複出場はできない。

敗者審判制なので、出場者は審判ができるようにしておく。

※県予選通過

ダブルス … 男子 4組、 女子 6組

シングルス… 男子 5名、 女子 6名

・団体の部…1校につき男女各1チーム(5～8名の登録内で)

試合順はD1・S1・D2で行い、同一選手の単複は兼ねられない。

※県予選通過…男子は2校、女子は2校まで

4. 試合形式 この大会は、現行の日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規則に準じて行う。

・団体戦…全試合15点3ゲームマッチで行い、2ゲーム先取した方の勝ちとする。

(どちらかの学校が初回戦の場合、結果が決まってもD2まで実施)

試合の流れがどちらとも判断がつかないときは速やかにD2を行い、

勝敗が決すればそこで打ち切りとする。

・個人戦…全試合15点3ゲームマッチで行う。(最大21点)

県出場者決定の為の順位決定戦は21点1ゲームマッチ

で行う。(11点でチェンジエンド、最大30点)

※15点ゲームの際に、一方のサイドのスコアが8点になったとき60秒

を超えないインターバルを認める。1ゲームと2ゲームの間、2ゲームと

3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。

連続する試合の間は、10分以内のインターバルを認める。

5. 使用シャトルについて

ヨネックス700の2種検定球。表示番号3または4。

6. その他

・県新人大会は11月14日(土)・15日(日)に行われます。

※会場 両日:117いいなスポーツアリーナ (加古川市神野町日岡苑25)

・県大会の抽選会は11月4日(水)です。(県役員が代表で出席します)

・県大会申込は、須磨学園中学校 大場まで。 10月28日(水)17:00〆切 厳守

そ の 他 注 意 事 項

1. 競技上の注意

- ・コールがあったら、3分以内にコートに入ること。入らなければ失格となる場合もある。
- ・選手は背中にゼッケンをつける。（4点留め。校名、個人名入りで見やすいこと。）
- ・団体戦、個人戦ともに試合前の試合形式による2ミスを認める。
- ・主審の認めた以外の中断は一切認めない。汗ふき、ヒモの締め直しは審判に断った後とする。
- ・ベンチ入りできるのは、団体戦は監督(顧問)・代表者、登録選手、登録コーチ【クラブチーム】外部コーチ許可証所持者【学校】のみ。個人戦は監督(顧問)・代表者または登録コーチと1名(記録係)、あるいは選手2名までとする。
- ・準決勝は原則同時にコールして行う。
- ・試合前に選手はジャンケンを行い、勝者はコートかサービスレシーブのどちらかを選べる。敗者は勝者が選ばなかった方を選ぶことができる。
- ・試合が終了して、同一選手の次の試合をコールするまでの間隔は10分以上あける。
- ・個人戦の3決は3ゲーム、順位決定戦は21点1ゲームで行う。

2. 審判上の注意

- ・敗者審判制です。敗者が主審をする。得点板係をつけること。（1巡目は本部が指名する）
- ・得点板係のみチームの関係者が担うことができる。
- ・シングルス試合の場合は敗者が主審を担当し、勝者が得点板係を務めること。
- ・敗者はそのコートで審判をする準備を整え、次の試合の選手を待つこと。
- ・試合の審判用紙は、試合の行う選手が本部より受け取り、試合コートまで持っていくこと。
- ・試合後、勝者は審判から審判用紙を受け取り、勝者サインを行う。
- ・審判が終了したら、その試合の審判用紙を本部まで持参する。
- ・敗者審判は主審名を記入し、線審の確認と対戦相手の名前を確認して審判を始める。
- ・厳正公正にその任務に当たる。特にカウントやアウトのコールははっきり大きな声で行う。
- ・競技規則に忠実に。サービス、フォルト、レット、プレー継続、不品行なふるまいなどに関する項目(条項)に精通しておく。特に下記の事項は、注意して審判をする。
 - ①故意のプレーの中断(審判に断らない汗ふき、靴ひもの締め直し)の禁止
 - ②インターバル以外の監督や応援者の指示や助言を受けることの禁止。
- ・サービスの際のフットフォルトやサービスフォルトなど最初は警告し、その後フォルトとする。
- ・シャトルの交換は主審の許可が必要。
- ・コートが汚れたり、濡れたりしたときの処置は主審の判断で行うこと。
- ・インプレー中に隣のコートからシャトルが入って、直接プレーヤーに影響があった、あるいは、ある場合はレットとする。
- ・いかなる場合も「抗議」や「異議」は認めない。質問のあるときは一応申し出る形で。
- ・生徒の敗者審判制であるため、トラブルも考えられるが、その時は本部の競技委員と審判長で判断する。
- ・線審の位置は正式ルールの対角線で行う。
- ・線審は互いのベンチの反対方向に入り、ユニフォームか学校指定の体操服着用者に限る。
- ・線審は「イン」「アウト」の判定をのぞき込むように見て行うこと。

3. 会場使用上の注意

- ・靴は屋外用、室内用の区別をはっきりつけること。
- ・競技場フロア内での飲食は厳禁とする。ゴミは各自で責任をもって持ち帰ること。
- ・利用させてもらっている最低限のマナー、エチケットを守ること。
- ・アップは競技フロアの南側（本部の対面）もしくは体育館の北東側（テニスコートに隣接する外の公園）で行うこと。駐車場でのアップは禁止する。競技フロアではラケットの使用を不可とする。外の公園では周りに十分注意してのラケットの使用は可とする。ただし、外の公園には体育館2階から行くことはできず、駐車場を通過して行くことになるので注意すること。また、使用状況によっては使用禁止にする場合もある。
- ・貴重品は各自・各チームで保管すること。
- ・昼食時間は特に設けないので、監督の指示あるいは各自で考えて3階のフロアでとること。
- ・中学生の大会であることを理解し、節度ある行動をとること。

4. その他

- ・試合前後の握手は行う。
- ・各自で感染症や熱中症対策は行うこと。
- ・観覧席は各チームで指定された場所に座ること。選手優先で座ること。
- ・体調不良者は参加を見合わせる。
- ・選手に十分な水分補給を促す案内をする。
- ・タイムテーブルを入れ替えて、可能な試合を入れていくこともある。
- ・館内に空調を入れることもあるので、体温調節のできる服装を準備する。
- ・朝の練習割り当ては、個人戦のみ参加の生徒で、上記の11:50までに受付を行う生徒は参加しなくても構わない。参加する場合は、朝の時点で受付を済ませておくこと。
- ・初日の個人戦のみ参加の生徒に関する試合は仮にコートが空いていてもよりも12:00より早めて入れることはしない。
- ・敗者審判及び勝者サイン用に自分で筆記用具を用意しておくこと。
- ・コートサイドの荷物用かごは設置しません。荷物は必ず袋に入れたり、自分で用意したカゴに入れたりするなどして1つにまとめ、汗のついたタオルやラケット、水筒などを直接フロアに置かないようにしてください。
- ・コーチ登録者以外の保護者などのインサイドコーチは禁止する。
- ・団体メンバーの変更は、2名まで認める。
個人戦は、すでにエントリーしたものについての変更はできない。
- ・団体戦の表彰式は1日目の団体戦終了後、個人戦の表彰式は2日目終了後に行う。
- ・個人戦のダブルスで一方の選手が参加できない場合は初回戦のみ以下の選手を補充してのオープン参加とします。オープン参加の優先順としては以下の通りです。それ以外の場合は本部まで相談してください。※監督会議終了後は不可
① 登録外の選手 ② シングルに登録している選手 ③ 他のダブルスの選手
- ・県新人大会の組み合わせは、県バドミントン競技部が定める組み合わせ優先事項によって実施されるため、地区順位がそのままトーナメントのシードに反映されるとは限らない。
- ・その他は監督会議において決定する。